

## 【特別推進研究】

# 人文・社会系



研究課題名 経済危機と社会インフラの複雑系分析

京都大学・経済研究所・教授

や の まこと  
矢 野 誠

研究分野：社会科学、経済学

キーワード：経済危機、複雑系分析、市場の質、判断力、法制度

### 【研究の背景・目的】

2008年の世界金融危機以来、世界経済の危機的状態は長期化しつつある。また、日本経済は、土地バブル崩壊後の長期停滞期から世界金融危機へと続く二重苦に悩まされ、原発事故によって追い打ちをかけられている。こうした現状で、危機の創出過程を解明し、危機脱却の手段を模索するのは急務である。

このような問題意識から、本研究は危機を複雑系現象ととらえるという新しい視点を確立し、市場や意思決定の質的な向上による危機対応という新しい見方を確立する。

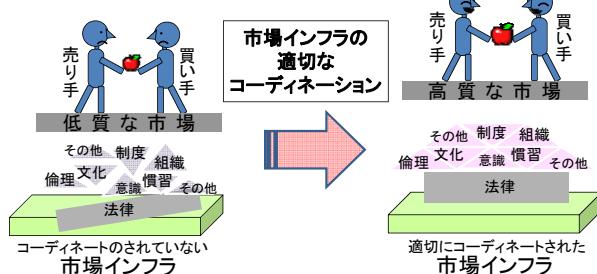
### 【研究の方法】

具体的な活動を以下の通りである。

1. 危機を市場の質や意思決定過程・判断力と関係づける理論モデルを構築し、危機発生のメカニズムや危機からの脱却の過程を示す。
2. 証券市場とそれを支える法制度や教育との関係を実証的に解明する独自のデータセットを構築し、理論モデルから導かれる仮説を検証する。
3. 市場の高質化や意思決定過程の高質化、判断力の向上を通じた危機対策という新しい政策パラダイムを確立する。

こうした研究活動を通じ、法制度、意識、倫理、文化、習慣、組織といった、市場や組織を支えるインフラストラクチャー（市場インフラ）のあり方を解明し、高質な市場や組織の形成における市場インフラのあり方を解明する。

#### 経済複雑系における危機脱却のプロセス



### 【期待される成果と意義】

市場の質という概念は、研究代表者によって、経済学に初めて導入された新しい考え方であり、過去10年ほどの研究を通じて、さまざまな分野でその重要性が認識されるに至っている。広く、

場広くその重要性が確認されつつある。本研究プロジェクトはその理論を危機分析に応用し、複雑系、法と経済学、ゲーム理論といった分野の最先端の研究者を結集し、危機に係るさまざまな研究成果を生み出していくことを目指している。特に、  
1. 危機のメカニズムを複雑系現象として解明  
2. 法社会学的手法によって市場高質化に向けた法制度の解明  
3. 危機対応型の組織構造の解明  
4. 高い判断力の養成に向けた教育・研究に関する調査・分析

こうした活動を通じ、本研究は、世界の経済学や複雑系科学を先導するとともに、危機解決に向け、研究の社会発信も強化していく。

### 【当該研究課題と関連の深い論文・著書】

- Yano, M., "The foundation of market quality economics," *The Japanese Economic Review* 60(1), 1-32, 2009.  
Yano, M., "The 2008 world financial crisis and market quality theory," *Asian Economic Papers*, 9(3), 172-192, 2010.  
Mattana, P., K. Nishimura, and T. Shigoka, "A Homoclinic bifurcation and global indeterminacy of equilibrium in a two-sector endogenous growth model," *International Journal of Economic Theory* 5, 25-47, 2009.  
Ota, S., and D. H. Foote, *Civil Justice System and Dispute Resolution in Contemporary Japan*, University of Tokyo Press, 2010 [in Japanese].  
Grant, S., A. Kajii, B. Polak, and Z. Safra, "Generalized Utilitarianism and Harsanyi's Impartial Observer Theorem," *Econometrica*, 78(6), 1939-1971, 2010  
Ono, Y., and A. Shibata, "Time Patience and Specialization Patterns in the Presence of Asset Trade," *Journal of Money, Credit and Banking* 42, 93-112, 2010.

### 【研究期間と研究経費】

平成23年度～27年度

441, 500千円

### 【ホームページ等】

<http://www.market-quality.net/spr-jp/>